

紙見本も之に等しければ學者の參考に資すべき良書たるを疑はず。……因に本書は去月發行の處見本貼付に非常なる手数を要せし由なれば、一時に送本せられざるべし。

▼春鳥會便利販賣部▲は元東京洋畫材料供給會と稱せしが今般其の組織を革め、同時に春鳥堂と號し専ら本會の讀者、會友よりの注文依頼に應じ一層確實に販賣をなせば同所より購買せらるゝが確實なる可し、詳しくは廣告を見られし。

△桂淵畫會▽ 眞野紀太郎氏主催の同會は既報の如く肖像畫、水彩畫、風景、靜物等の揮毫の依頼に應ぜられつゝありて依頼者の好評頗る高し、尙ほ本誌讀者には特に好意を以て、申込に應ぜらるゝ由なれば有志の方は此際申まれたしと。

注意

『みづゑ』第八十二號は來る十二月三日發行仕るべければ前金切れ等の方は至急御拂込相成度此段御注意申上候

謹告

父大下藤次郎儀死去の節は早速御鄭重なる御弔文を賜り難有奉存候、就ては一々御禮可申上筈の處、混雜の際とて御芳名記入漏れ等有之やも不計ず候故、畧儀乍ら謹で茲に紙上を藉りて御禮申上候

尙ほ一旦廢刊と相定め申候『みづゑ』も大方諸氏の御熱望と御助力により再び繼續發行仕る事に改め候に付いては父生前の事業を繼承し必ず遂行仕る可きに付き爾後は何卒應分の御助力と御愛顧被下度此段併せて御願ひ申上候

四十四年十一月 日

大下正男